

真空ホットプレス炉マシン加熱真空プレス

商品番号: KT-VHP



前書き

KINTEK

真空ホットプレス炉：高精度の加熱とプレスで優れた材料密度を実現。2800℃までカスタマイズ可能で、金属、セラミック、複合材料に最適。今すぐ高度な機能をご覧ください！

[詳細を学ぶ](#)

全体仕様	加熱炉は縦型炉体を採用。加圧能力は5～800Tで、加圧方法は一方向と双方向に分かれています。投入・排出の構成には上部と側面のオプションがあります。システムは炉本体、油圧システム、真空システム、加熱システム、水冷システム、電子制御システムから構成されます。
炉シェル	水冷式二重構造。内層は厳密に研磨されたステンレス鋼製で、外層はステンレス鋼のサンドブラスト艶消し処理または炭素鋼の防錆コーティングが施されている。冷却水はこれらの層間を循環し、炉シェル表面温度が60℃を超えないようにします。炉蓋は機械的な機構で持ち上げられ、手動で後方に回転させて開くことができます（一方向加圧式の場合）。
炉側面のアクセスと監視	炉側には観察窓、熱電対の自動出入り機構、赤外線温度計、水冷電極（三相加熱用）が装備されています。熱電対の自動出入口は電動式で、高温と低温の自動切り替えが可能です。炉の異常温度に対する安全性を高めるため、過昇温防止用熱電対も装備されています。
加熱エレメント	グラファイトチューブ（またはモリブデンワイヤー）製で、単相または三相加熱用に設計されています。発熱体の合理的な設計により、炉内の温度均一性が大幅に向上します。
断熱層	グラファイト（またはグラファイトペーパー）やカーボンフェルトなどの素材を使用し、優れた断熱性能を発揮。独自の構造設計により、バキューム時間を短縮することができます。モリブデン線ホットプレス炉の場合、断熱層は金属反射スクリーンで構成されます。
真空システム	高真空と低真空を達成するため、2段式真空ポンプ（通常は油拡散ポンプと機械式ポンプ）を装備しています。このシステムは、KINTEKが設計・製造した高真空バッフルバルブを使用しており、高真空と低真空の自動切り替えと制御が可能で、デジタル表示の真空計とPLCと統合されています。
電気制御システム主回路	主回路は低電圧、高電流入力で作動します。電気制御キャビネットは、リタール標準キャビネットを参考に、人間中心の設計を重視して製造されています。コントロールパネルには、直感的な操作が可能なグラフィックシミュレーション画面とボタンが装備されています。温度と圧力制御は、輸入ブランドのプログラム計器によって管理されます。キャビネットにはPLCが装備され、焼結プロセスがプリセットプログラムに従って自動的に完了します。制御システムは、水カットオフ、過温、過電流、熱電対自動スイッチング故障などの異常状態のための包括的な音と光のアラーム機能を備えています。

使用温度	1500℃/2200℃（最大、雰囲気による）
発熱体	モリブデン/グラファイト（その他タングステン、インダクション等選択可）
使用圧力	10-400T（800Tまでカスタマイズ可能）
プレス距離	100-200mm（カスタマイズ可能）

真空圧	最大 6×10^{-3} Pa（高真空オプションあり）
有効径範囲	90-600mm（カスタマイズ可能）
有効作業部高さ範囲	120-600mm（カスタマイズ可能）